

## 市民の皆様へ

私たちの生活に大きな被害をもたらした東日本大震災から、きょうで1カ月が経過しました。

3月11日には、津波による大きな被害を目の当たりにして、深い谷底に落とされたような気持ちになりましたが、全国各地からの温かいご支援と地域や企業、ボランティアの皆様のご力強いご努力、ご協力をいただきながら、今、私たちは復興に向けて全力で取り組み始めました。

電気や水道などのライフラインは、市内の広い範囲で復旧しました。市民生活の足を守るため、市内の路線バスも8路線で、当分の間、無料運行を開始しています。

また、被災地では所有者の立会いのもとで瓦礫の撤去を進めるとともに、総数2,200戸あまりを申し込んだ応急仮設住宅の建設も始まりました。現在、約750戸分が着工済み、または近日中に着工することとなっており、近々、第1回目の入居が予定されています。

待ちに待った小中学校も、4月20日から22日にかけて始業式、入学式が行われます。もうすぐ校舎に子どもたちの元気な声もどってくることでしょう。

今後の生活設計を立てるため、公的支援を受けるのに必要なり災証明書の交付や生活資金の貸付申し込みも行っています。

市内には、今なお3,000人以上の方々がそれぞれの避難所で不自由な生活を送っていますが、このように1カ月の間に、大船渡市は着実に復興への歩みを進めています。

私は、震災直後から各避難所を回り、被災者の皆様のご意見、ご要望をお聞きしては対応に努めて参りました。今は、経済活動の復旧にお役に立てるよう被災した市内企業を訪問し、これからの展望について意見交換をするとともに、ご意見、ご要望などを国県などへ強く働き掛けています。

また、市役所では、3月23日、新たに災害復興局を設置し、専任の職員を置いて、さっそく今後の復興計画づくりに着手しました。

計画づくりに際しては、幅広く市民の皆様のご意見を伺うとともに、専門分野の方々のご提言も取り入れていく考えでいます。

これからも市民の皆様が力を合わせ、心をつなげて、「ふるさと大船渡」の復興に向けて、ともに歩んでいきましょう。

我々が前向きに努力するかぎり、未来は明るいのです。

自信をもって、正々堂々と進んでいきましょう。

平成23年4月11日

大船渡市長 戸田 公明